

令和6年4月 新宮町教育委員会定例会 会議録

1. 開催日時

令和6年4月25日（木） 9時28分から10時22分まで

2. 場所

新宮町役場 3階 第2委員会室

3. 出席者

小川教育長、吉松委員、本多委員

4. 欠席者

横山委員、小池委員

5. 出席職員

桐島学校教育課長、井上社会教育課長、三船学校教育課長補佐、船越社会教育課長補佐、秋山社会教育課長補佐、大里指導主事、高口指導主事

6. 欠席職員

なし

7. 日程

○ 日程第1 開会の宣告

（小川教育長）

ただ今から4月の教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、横山委員と小池委員が欠席となっておりますが、出席者数が定数の過半数を超えていますので、本定例会は成立いたします。

なお、事務局職員は全員出席です。

9時28分開始

○ 日程第2 会議録署名議員の指名について

（小川教育長）

会議録署名議員は会議規則第17条の規定により、教育長及び会議で決めた委員の1名となっておりますので、今回は吉松委員にお願いいたします。
よろしくお願いいたします。

○ 日程第3 教育長の報告事項

（小川教育長）

（資料により、4月23日開催の管内教育長会議の報告及び説明）

① 令和6年度教育事務所の重点事項について

- ② 令和6年度教科用図書採択に係る業務の流れについて
- ③ 令和6年度「人間力アップ講座」について
- ④ 危機対応のページについて
- ⑤ 令和6年度子供の読書活動優秀実践文部科学大臣表彰の受賞に及び「子どもの読書活動推進フォーラム」への参加について（新宮東小学校）

○ 日程第4 諸報告

1) 学校教育課の報告について

（桐島学校教育課長）

（資料により学校教育課の報告）

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定
- ・ 新宮町教育行政の目標と主要施策「かがやきプラン」
（詳細は高口指導主事が説明する）
- ・ 令和6年度新宮町小中学生海外派遣事業について
（詳細は三船学校教育課長補佐が説明する）

② 連絡事項

- ・ 令和6年度（当初予算分）新宮町教育委員会（学校教育課）における主な工事等施工予定表について
（詳細は三船学校教育課長補佐が説明する）

③ その他

- ・ 学校教育課事務分担表及び座席配置図について
- ・ 令和6年度会計年度任用職員の配置について

（小川教育長）

質問等はありませんか。

（本多委員）

令和6年度の新宮町教育委員会主催の研修事業等計画書の説明を受けましたが、本当に細かく、多くの研修をしていただく予定になっており、一方、先生方の負担にならないように、本当に効果的・効率的で実践的な研修をしていただけるのではないかと非常に期待をさせていただいているところです。また、内容も学習指導や生徒指導、特別支援教育であるとか、またコミュニティースクールに関しても、細かく新宮町が深く取り組んでいることに特化していただいております、大変ありがたいなと思ってお話を伺っていました。しかし、現在、新聞などのマスコミ報道で、コロナ禍が終息した後には不登校の児童生徒が非常に多くなったと報道されています。新宮町も実際に思うのですが、今までこんなに多くの不登校児童生徒がいたことはなかったのではないかと、このことがこれまでの教育委員会の定例会の中でも随分と話題に上がってきており、皆で一生懸命に心を尽くしてやってきたつもりではあるのですが、もし、この状況がさらに続くようであれば、本当にここ1・2年とか、3・4年で、コロナ禍の時と同じくらいに落ちついていけばいいなと思うのですが、不登校の原因が分からない

ということが非常に難しいと思っています。やはり、コロナ禍の多くの制限がある中、そこで一番心を鍛えなければいけなかったその年代の子ども達が一番影響を受けているのではないかと推測しています。逆に小学校5、6年生であるとか中学校3年生であるとか、学校のリーダーとして引っ張っていく一番大切な時期、立場にあるときにしっかりと取り組めた子ども達というのは、コロナ禍の中であっても、どのはざまであるのかは分からないのですが、割と復活しているように感じます。その時期に自分の役割をしっかりと見つけれなかった子が悩んでいるような、そういう感じがしています。そのため、新聞などの報道でも、代替の教育機関、フリースクールであるとか、そういうものを少し充実しなければいけないのではないかという民間の意識も少し高くなってきているような感じがしますので、この不登校の人数的なものなど新宮町の状況を把握しながら、それから保護者への連絡や家庭訪問をされている現場の先生方の負担感などもしっかりと把握し、人員確保が本当に大変なときであると思うのですが、このような状況が来年、再来年も変わらないようであるならば、不登校の児童生徒に対応していただいているオレンジルームの先生などの他にリーダーとしてやっていただく専門の先生などを1人配置していただくなどの対応をしていただきたらと思っています。すみません、今の状況がよく分かってなくて申し上げているのですが、今の状況と併せて教えていただければと思います。

(高口指導主事)

各学校内に不登校対応の人員を確保することなのでしょうか。

(本多委員)

今は担任の先生と学年主任の先生、教頭先生などの役職を持たれた先生方で臨機応変に対応してあると思います。それは不登校児童生徒が出た場合の対応なのか、最初から不登校児童生徒が出たらこのチームで対応すると決められているものなのかをお伺いします。

(高口指導主事)

まず、学校で一番大切にしているのは未然防止です。だから安心できる学級、安心できる学校をつくるために中心となって取り組むのはやはり担任の先生だと思います。

不登校に関しては、担当はそれぞれの学校にいます。児童支援が担当していたり、生徒指導担当者が担当になっていたり、それぞれの学校で取組の中身は違います。中学校では、とりあえず学校に足を運ぶことができたならオレンジルームで学習しようということになっていますが、小学校はステップルームであるとか、学習支援室などをそれぞれ設けて、その担当がそれぞれの場所で指導するような形になっています。

ずっと増え続けている一方ではなく新宮町の小学校の場合では復帰率も高いです。チームで、この子に対しては管理職が誰がどのように取り組んでいくかということを決めて、組織で取り組んでいるため復帰率が高くなっています。ただ、中学校については復帰率は低いです。それは人数的な問題もあって、小学校みたいになかなか組織として取り組む体制が作りにくいというところがあって、そこが大きな課題になっています。中学校になると不登校になってからの期間が長くなってしまうため、気持ちを切り替えるとか、その取組がスクールカウンセラーとかソーシャルワーカーが入ってもなかなか改善できないというところです。

まつかぜルームを利用している子ども達もいるのですが、まつかぜルームに週に1回程度来れるのが精一杯かなと、家にずっと引き籠っている子どもがたくさんいるという状況が中学校では続いています。

ただ、今年は絶対に学校とのつながりを切らないようにということを重点的に取り組んでもらおうと思っています。

(小川教育長)

教育委員会といたしましても、そういう不登校の状況がありましたので、今年度はスクールカウンセラーの配置時間数を増やして対応することにしています。

それから、県など全体を見ると不登校特例校という形で、福岡市だと福岡市教育センターの中に不登校の子ども達を受け入れるという取り組みがあります。大牟田市にもそのような施設をつくって対応しているようです。

そういった意味では、中学校という学齢期だけではなくて、中学校、高校、そのもう一つ先に向けて、不登校傾向に陥った子ども達のケアというものが必要なのではないかと、中学校の進路指導の視点でいえば、そういう不登校傾向に陥った子ども達も、高校に合格する子もいますし、通信制の学校に行く子もいます。その子達はその次の大学などへの進学も経験していますので、結局、中学校での不登校傾向であっても何らかの関わりを続けることによって、次の高校の学齢期または高校を卒業した学齢期の中で、何かのきっかけでまた開ける部分があるのではないかと思います。そういった部分の支援を粘り強く町としても学校としても続けていく必要があると感じております。

(吉松委員)

高口指導主事から説明いただいた人材育成については、本当に大切なことだと常々思っています。そこで、研修が負担で病気になったりしないよう配慮していただいて、研修事業等計画書を作成していただき本当にありがとうございます。

ただ、今年度の教職員合同離任式の時に若い先生方が退職をされるという場面を見して、何故辞められるのかなと思ったことと、研修などの負担だけではないのかもしれないというふうにも思ったところもあり、若い先生方をサポートするような仕組みといたしますか、組織的な取組などがございましたら教えていただきたいと思っております。

(高口指導主事)

本当に新宮町だけではなく、若くして退職する、数年間勤めて退職する教員は急激に増えている状況です。事情を聞くと業務の忙しさというよりも生徒指導対応、保護者対応でかなり苦労しているようで、そこで心が折れてしまうのが原因であることもあるようです。また、給与の面などで別の職に変わったほうがかなり待遇が良いということも聞いています。

とにかく、学校では人材育成の基本として、校務分掌をそれぞれ決めるのですが、管理職が、教職員一人ひとりが何をしなければならないのか、その校務分掌にある仕事の内容を明確に説明して、あなたはこの仕事をこれだけ、こういうふうに行う必要があるのですよということをしっかりと指導してくださいとお願いしているところです。ただ、そのことだけではなく、やはり人が動くためには信頼関係が大事な

で、人間関係づくりを学校の中でうまくやってくださいと伝えているところです。

日頃の学校現場の中でのちょっとした声かけであるとか、気になることがあったら何でも相談できるような雰囲気をつくり、そしてきっちり仕事ができるような環境、できる限り勤務時間内で業務を終えるような効率的な組織運営をしていただくようお願いしています。

(吉松委員)

新宮東小学校におけるグラウンド整備工事についてお伺いします。

グラウンドの表土を整備するとのことでしたが、具体的にはどのようなことをするのでしょうか。

(三船学校教育課長補佐)

今のグラウンドの表土を約10センチ鋤取り、水はけが良くなる改良土壌を敷きつけて転圧する。また、老朽化しているバックネットを撤去し、新しく設置するという工事を予定しています。

(吉松委員)

そうすると、グラウンドが少し柔らかくなったり、土ぼこりが少し抑えられたりとかそういうメリットもあるんですか。

(三船学校教育課長補佐)

はい。現在、表土もかなり固く、粒子も細かくなっているため、強風が吹いたときは周辺にほこりが舞うという飛び砂の問題がありました。今回の工事で、既存の表土を鋤取り改良土壌に変えることで、グラウンド表面も柔らかくなり転倒によるけがのリスクも軽減しますし、周辺への飛び砂も抑えられることになります。

2) 社会教育課の報告について

(井上社会教育課長) (資料により社会教育課の報告)

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定

② その他

- ・ 社会教育課事務分担表
- ・ 令和6年度社会教育委員名簿
- ・ 町立図書館利用状況及び行事予定

(小川教育長)

質問等はありませんか。(特になし)

○ 日程第5 その他

1) 教育委員会定例会の日程について

(桐島学校教育課長) (日程確認)

- ・ 5月定例会
令和6年5月29日(水) 9時30分から (確定)
- ・ 6月定例会

令和6年6月19日（水） 9時30分から （予定）

○ 日程第6 閉会の宣告

（小川教育長）

以上で4月の新宮町教育委員会定例会を閉会します。

10時22分終了

署名 教育長 小 川 隆 弘 _____

署名 委 員 吉 松 康 子 _____